

3-7-4 計算事例  
【単品スライド(軽油+ガソリン)】の計算例

修正前

軽油	経済私添み数量(7,000L)									購入数量(証明済み)									購入数量 (未証明)	購入数量 合計		
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月			9月	計
① 受注者 購入数量 (現場内建設機械に係る数量)	-	-	-	5,000	10,000	15,000	14,000	5,000	1,000	50,000	5,000	-	-	-	-	-	-	-	-	50,000	5,000	55,000
② 受注者 購入数量 (数材運搬に係る数量)	-	-	-	1,000	-	-	1,500	500	-	3,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3,000	-	3,000
③ 受注者 購入数量 (数材運搬に係る数量)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
④ 受注者 購入価格 (税込)	90	90	100	90	100	100	100	110	100	100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	90	-	90
⑤ 受注者 実勢価格 (原燃料引物価格: 取扱き)	80	80	90	80	90	90	100	110	120	110	-	-	-	-	-	-	-	-	-	85	-	85
受注者 購入金額 ①×④	-	-	-	450,000	1,000,000	1,500,000	1,400,000	550,000	100,000	5,000,000	475,000	-	-	-	-	-	-	-	-	4,750,000	475,000	5,475,000
受注者 購入金額 ②×④	-	-	-	-	90,000	0	0	150,000	55,000	0	295,000	-	-	-	-	-	-	-	-	295,000	-	295,000
受注者 実勢金額 ③×⑤	-	-	-	5,410,000	900,000	1,500,000	1,705,000	680,000	110,000	5,415,000	475,000	-	-	-	-	-	-	-	-	5,890,000	475,000	5,890,000
受注者 スライド率 P'	$P' = \Sigma(\text{購入数量} \times \text{実勢価格}) \div \text{購入数量} = 5,890,000 \div (55,000 + 3,000) = 102$																					

  

ガソリン	経済私添み数量(1,400L)									購入数量(証明済み)									購入数量 (未証明)	購入数量 合計		
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月			9月	計
① 受注者 購入数量 (現場内建設機械に係る数量)	-	-	-	1,000	2,000	3,000	2,800	1,000	200	10,000	0	-	-	-	-	-	-	-	-	10,000	0	10,000
② 受注者 購入数量 (数材運搬に係る数量)	-	-	-	-	500	1,000	500	-	-	2,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2,000	-	2,000
③ 受注者 購入数量 (数材運搬に係る数量)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
④ 受注者 購入価格 (税込)	100	120	130	110	120	140	160	160	160	180	-	-	-	-	-	-	-	-	-	180	-	180
⑤ 受注者 実勢価格 (原燃料引物価格: 取扱き)	110	120	140	110	110	130	170	170	170	170	-	-	-	-	-	-	-	-	-	170	-	170
受注者 購入金額 ①×④	-	-	-	110,000	240,000	420,000	448,000	160,000	36,000	1,814,000	0	-	-	-	-	-	-	-	-	1,814,000	0	1,814,000
受注者 購入金額 ②×④	-	-	-	0	60,000	140,000	80,000	0	0	280,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	280,000	-	280,000
受注者 実勢金額 ③×⑤	-	-	-	110,000	275,000	520,000	561,000	170,000	34,000	1,870,000	0	-	-	-	-	-	-	-	-	1,870,000	0	1,870,000
受注者 スライド率 P'	$P' = \Sigma(\text{購入数量} \times \text{実勢価格}) \div \text{購入数量} = 1,870,000 \div (10,000 + 2,000) = 138$																					

  

既算(単品スライド対象外)		未払い(単品スライド対象の購買代金 P)	
単品スライド対象の購買代金額	P	50,000,000円(税込)	※部分払いの対象となった出来形部分に 相応する購買代金相当額を除く
遅利率	k	90%	
当初設計単価	p	軽油: 80 円 / ガソリン 110 円	
受注者 スライド率	P'	軽油: 102 円 / ガソリン 139 円	
M受買・油(受注者)		$102 \times (55,000 + 3,000) + 139 \times (8,000 + 1,000) \times 0.9 \times 1.1 = 7,095,330$	
M受買・油(受注者)		$5,770,000 + 1,271,200 = 7,041,200$	
M自給・油(受注者)		$80 \times (55,000 + 3,000) + 110 \times (8,000 + 1,000) \times 0.9 \times 1.1 = 5,573,600$	
実勢単価		7,041,200 - 5,573,600 = 1,467,600	※単品スライド対象の購買代金(P)に対して、1%以上の変動有り
単品スライド率	S	$1,467,600 - 50,000,000 \times 1\% = 967,500$	※S = 変動単価 - P × 1%
単品スライド率(取扱き)	S'	$967,500 \times 100 / 110 = 879,545$ 円	※879,000(円未満切り捨て)
単品スライド率(税込)		$879,000 \times 1.1 = 966,900$	

3-7-4 計算事例  
【単品スライド(軽油+ガソリン)】の計算例

修正後

軽油	経済私添み数量(7,000L)									購入数量(証明済み)									購入数量 (未証明)	購入数量 合計		
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月			9月	計
① 受注者 購入数量 (現場内建設機械に係る数量)	-	-	-	5,000	10,000	15,000	14,000	5,000	1,000	50,000	5,000	-	-	-	-	-	-	-	-	50,000	5,000	55,000
② 受注者 購入数量 (数材運搬に係る数量)	-	-	-	1,000	-	-	1,500	500	-	3,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3,000	-	3,000
③ 受注者 購入数量 (数材運搬に係る数量)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
④ 受注者 購入価格 (税込)	90	90	100	90	100	100	100	110	100	100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	95	-	95
⑤ 受注者 実勢価格 (原燃料引物価格: 取扱き)	80	80	90	80	90	90	100	110	120	110	-	-	-	-	-	-	-	-	-	85	-	85
受注者 購入金額 ①×④	-	-	-	450,000	1,000,000	1,500,000	1,400,000	550,000	100,000	5,000,000	475,000	-	-	-	-	-	-	-	-	4,750,000	475,000	5,475,000
受注者 購入金額 ②×④	-	-	-	-	90,000	0	0	150,000	55,000	0	295,000	-	-	-	-	-	-	-	-	295,000	-	295,000
受注者 実勢金額 ③×⑤	-	-	-	5,410,000	900,000	1,500,000	1,705,000	680,000	110,000	5,415,000	475,000	-	-	-	-	-	-	-	-	5,890,000	475,000	5,890,000
受注者 スライド率 P'	$P' = \Sigma(\text{購入数量} \times \text{実勢価格}) \div \text{購入数量} = 5,890,000 \div (55,000 + 3,000) = 102$																					

  

ガソリン	経済私添み数量(1,400L)									購入数量(証明済み)									購入数量 (未証明)	購入数量 合計		
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月			9月	計
① 受注者 購入数量 (現場内建設機械に係る数量)	-	-	-	1,000	2,000	3,000	2,800	1,000	200	10,000	0	-	-	-	-	-	-	-	-	10,000	0	10,000
② 受注者 購入数量 (数材運搬に係る数量)	-	-	-	-	500	1,000	500	-	-	2,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2,000	-	2,000
③ 受注者 購入数量 (数材運搬に係る数量)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
④ 受注者 購入価格 (税込)	100	120	130	110	120	140	160	160	160	180	-	-	-	-	-	-	-	-	-	180	-	180
⑤ 受注者 実勢価格 (原燃料引物価格: 取扱き)	110	120	140	110	110	130	170	170	170	170	-	-	-	-	-	-	-	-	-	170	-	170
受注者 購入金額 ①×④	-	-	-	110,000	240,000	420,000	448,000	160,000	36,000	1,814,000	0	-	-	-	-	-	-	-	-	1,814,000	0	1,814,000
受注者 購入金額 ②×④	-	-	-	0	60,000	140,000	80,000	0	0	280,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	280,000	-	280,000
受注者 実勢金額 ③×⑤	-	-	-	110,000	275,000	520,000	561,000	170,000	34,000	1,870,000	0	-	-	-	-	-	-	-	-	1,870,000	0	1,870,000
受注者 スライド率 P'	$P' = \Sigma(\text{購入数量} \times \text{実勢価格}) \div \text{購入数量} = 1,870,000 \div (10,000 + 2,000) = 138$																					

  

既算(単品スライド対象外)		未払い(単品スライド対象の購買代金 P)	
単品スライド対象の購買代金額	P	50,000,000円(税込)	※部分払いの対象となった出来形部分に 相応する購買代金相当額を除く
遅利率	k	90%	
当初設計単価	p	軽油: 80 円 / ガソリン 110 円	
受注者 スライド率	P'	軽油: 102 円 / ガソリン 139 円	
M受買・油(受注者)		$102 \times (55,000 + 3,000) + 139 \times (8,000 + 1,000) \times 0.9 \times 1.1 = 7,095,330$	
M受買・油(受注者)		$5,770,000 + 1,271,200 = 7,041,200$	
M自給・油(受注者)		$80 \times (55,000 + 3,000) + 110 \times (8,000 + 1,000) \times 0.9 \times 1.1 = 5,573,600$	
実勢単価		7,041,200 - 5,573,600 = 1,467,600	※単品スライド対象の購買代金(P)に対して、1%以上の変動有り
単品スライド率	S	$1,467,600 - 50,000,000 \times 1\% = 967,500$	※S = 変動単価 - P × 1%
単品スライド率(取扱き)	S'	$967,500 \times 100 / 110 = 879,545$ 円	※879,000(円未満切り捨て)
単品スライド率(税込)		$879,000 \times 1.1 = 966,900$	

## 修正前

### 単品スライド額算定計算書（発注者用）（マニュアル1-5） ※実勢価格にてスライド額を算出する場合

#### 黄色セル：入力欄

A: 当初設計額 (税込み)	円
B: 当初請負額 (税込み)	円
C: 請負率	B/A
D: スライド前の最終設計工事価格	円
D1: 既済部分出来高額 (税込み)	円
D2: スライド対象請負金額 (税込み) D-D1	0 円
E: D2 × 1%	0 円

※該当がない場合は、0を入力。

#### 変動額算定表（設計額ベース・税抜き）

品目 <sup>※1</sup>	材料名	規格	単位	F <sup>※2</sup> 対象数量	G <sup>※3</sup> 当初単価 (税抜き)	H <sup>※4</sup> 当初想定金額 (税抜き) F × G	実勢単価 (設計ベース単価)				M 変動後金額 (税抜き) F × L	N 変動額 (税抜き) 高目毎の Σ M - Σ H	O 判定 N = E O > 0 → 対象 O ≤ 0 → 非対象	P 対象変動額 (O = 対象) の場合 N
							I <sup>※5,4</sup> 価格刊行物等 実勢単価 (税抜き)	J <sup>※3,4</sup> 受注者 購入単価 (税抜き) Iが空欄の場合	K <sup>※4</sup> 受注者 購入単価 設計換算額 (税抜き) J ÷ C	L <sup>※4</sup> 採用単価 (税抜き) I or K				
鋼材						0		#DIV/0!	0	0				
品目小計						0		#DIV/0!	0	0		0	非対象	-
生コン						0		#DIV/0!	0	0				
品目小計						0		#DIV/0!	0	0		0	非対象	-
石材						0		#DIV/0!	0	0				
品目小計						0		#DIV/0!	0	0		0	非対象	-
燃料						0		#DIV/0!	0	0				
品目小計						0		#DIV/0!	0	0		0	非対象	-
品目ごとの設計額ベースの変動額 合計 (税抜き)														

- ※1 単価変動の要因が同一のものを、同一品目として取り扱うことを基本とする。
- ※2 燃料油を除く材料については、受注者の証明数量が設計図書の数値に満たない場合は、対象材料とならない（マニュアル2-2）。
- ※3 G及びIは設計ベース単価（税抜き）を入力する。Jは受注者の購入単価（税抜き）を入力する。
- ※4 実勢単価は価格刊行物等の単価Iを採用する。ただし、価格刊行物等による設定が困難な材料はIは空欄とし、受注者の購入単価設計換算額Kを実勢単価として採用する。（マニュアル2-4）
- ※5 行は必要に応じて追加すること。その際、集計が正しくされるか、数式を確認すること。

Q: 設計額ベースのスライド額相当額 (税抜き) E - F - E	0 円 (少数以下切捨)
R: 変更設計工事価格 D + Q	0 円 (千円未満切捨)
S: 変更設計額 R × 110 / 100	0 円
T: 変更請負額 Q × S	#DIV/0! 円 (千円未満切捨)
U: スライド額 T - (D × 110 / 100 × C: 千円未満切捨)	#DIV/0! 円

## 修正後

### 単品スライド額算定計算書（発注者用）（マニュアル1-5） ※実勢価格にてスライド額を算出する場合

#### 黄色セル：入力欄

A: 当初設計額 (税込み)	円
B: 当初請負額 (税込み)	円
C: 請負率	B/A
D: スライド前の最終設計工事価格	円
D1: 既済部分出来高額 (税抜き)	円
D2: スライド対象工事価格 (税抜き) D-D1	0 円
E: D2 × 1%	0 円

※該当がない場合は、0を入力。

#### 変動額算定表（設計額ベース・税抜き）

品目 <sup>※1</sup>	材料名	規格	単位	F <sup>※2</sup> 対象数量	G <sup>※3</sup> 当初単価 (税抜き)	H <sup>※4</sup> 当初想定金額 (税抜き) F × G	実勢単価 (設計ベース単価)				M 変動後金額 (税抜き) F × L	N 変動額 (税抜き) 高目毎の Σ M - Σ H	O 判定 N = E O > 0 → 対象 O ≤ 0 → 非対象	P 対象変動額 (O = 対象) の場合 N
							I <sup>※5,4</sup> 価格刊行物等 実勢単価 (税抜き)	J <sup>※3,4</sup> 受注者 購入単価 (税抜き) Iが空欄の場合	K <sup>※4</sup> 受注者 購入単価 設計換算額 (税抜き) J ÷ C	L <sup>※4</sup> 採用単価 (税抜き) I or K				
鋼材						0		#DIV/0!	0	0				
品目小計						0		#DIV/0!	0	0		0	非対象	-
生コン						0		#DIV/0!	0	0				
品目小計						0		#DIV/0!	0	0		0	非対象	-
石材						0		#DIV/0!	0	0				
品目小計						0		#DIV/0!	0	0		0	非対象	-
燃料						0		#DIV/0!	0	0				
品目小計						0		#DIV/0!	0	0		0	非対象	-
品目ごとの設計額ベースの変動額 合計 (税抜き)														

- ※1 単価変動の要因が同一のものを、同一品目として取り扱うことを基本とする。
- ※2 燃料油を除く材料については、受注者の証明数量が設計図書の数値に満たない場合は、対象材料とならない（マニュアル2-2）。
- ※3 G及びIは設計ベース単価（税抜き）を入力する。Jは受注者の購入単価（税抜き）を入力する。
- ※4 実勢単価は価格刊行物等の単価Iを採用する。ただし、価格刊行物等による設定が困難な材料はIは空欄とし、受注者の購入単価設計換算額Kを実勢単価として採用する。（マニュアル2-4）
- ※5 行は必要に応じて追加すること。その際、集計が正しくされるか、数式を確認すること。

Q: 設計額ベースのスライド額相当額 (税抜き) E - F - E	0 円 (少数以下切捨)
R: 変更設計工事価格 D + Q	0 円 (千円未満切捨)
S: 変更設計額 R × 110 / 100	0 円
T: 変更請負額 Q × S	#DIV/0! 円 (千円未満切捨)
U: スライド額 T - (D × 110 / 100 × C: 千円未満切捨)	#DIV/0! 円

## 修正前

単品スライド額算定計算書（発注者用）（マニュアル1-5）  
 ※受注者から実際の購入金額でスライド額を算出することを希望する旨の申し出があった場合

### 黄色セル：入力欄

A：当初設計額（税込み）	円
B：当初請負額（税込み）	円
C：原費率	B/A
D：スライド前の最終設計工事価格	円
D1：既済部分出来高額（税込み）	円
D2：スライド対象請負金額（税込み） D-D1	0円
E：D2×1%	0円

※該当がない場合は、0を入力。

### 変動額算定表（設計額ベース・税抜き）

品目#1	材料名	規格	単位	F#2 対象数量	G#2 当量単価 (税抜き)	H 当初想定金額 (税抜き) F×G	I 実費単価 (税抜き)	J 受注者 購入単価 (税抜き)	K 見積単価 (税抜き)	L#4 採用単価 (税抜き) I or J	M 実費価格 +30%以内 の増減 対象の場合 ⇒Oへ ※5 妥当性確認 の場合⇒Nへ	N 発注者による妥当性確認 (①~③にOor×を入力)				O 変動後金額 (税抜き) F×L	P 変動額 (税抜き) 品目毎の ΣO-ΣH	Q 判定 P-E O>0⇒対象 O≤0⇒非対象	R 対象変動額 「Q=対象」 の場合 N
												①発注者による 見積徴収	②近隣工事にお ける材料調達状 況	③特別調査で設 定した単価の場 合、調査期間へ のヒアリング	①~③確認結果				
鋼材						0					0	①V			0				
品目小計						0					0	①V			0				
生コン						0					0	①V			0				
品目小計						0					0	①V			0				
石材						0					0	①V			0				
品目小計						0					0	①V			0				
燃料						0					0	①V			0				
品目小計						0					0	①V			0				
品目ごとの設計額ベースの変動額 合計 (税抜き)						0					0	①V			0				

※1 単価変動の原因が同一のもの、同一品目として取り扱うことを基本とする。  
 ※2 単価変動を除く材料については、受注者の見積額が設計図書の数値に満たない場合は、対象材料としない(マニュアル2-2)。  
 ※3 G及びIは設計ベース単価(税抜き)を入力する。Jは受注者の購入単価(税抜き)を入力する。  
 ※4 行は必要に応じて追加すること。その際、集計が正しくされるか、数式を確認すること。  
 ※5 妥当性の確認が必要な場合、Nの項目①~③をすべて確認(入力)し、妥当性を判断する。

S：設計額ベースのスライド額増減額(税抜き) ΣR-E	0円 (少数以下切捨)
T：変更設計工事価格 D+S	0円 (千円未満切捨)
U：変更設計額 T×110/100	0円
W：変更請負額 C×U	0円 (千円未満切捨)
X：スライド額 W-(D×110/100×C：千円未満切捨)	0円

※Dを算出した変更設計書の直後工事費に0046を設定し、その配下にSを入力し計算

## 修正後

単品スライド額算定計算書（発注者用）（マニュアル1-5）  
 ※受注者から実際の購入金額でスライド額を算出することを希望する旨の申し出があった場合

### 黄色セル：入力欄

A：当初設計額（税込み）	円
B：当初請負額（税込み）	円
C：原費率	B/A
D：スライド前の最終設計工事価格	円
D1：既済部分出来高額（税抜き）	円
D2：スライド対象工事価格 (税抜き) D-D1	0円
E：D2×1%	0円

※該当がない場合は、0を入力。

### 変動額算定表（設計額ベース・税抜き）

品目#1	材料名	規格	単位	F#2 対象数量	G#2 当量単価 (税抜き)	H 当初想定金額 (税抜き) F×G	I 実費単価 (税抜き)	J 受注者 購入単価 (税抜き)	K 見積単価 (税抜き)	L#4 採用単価 (税抜き) I or J	M 実費価格 +30%以内 の増減 対象の場合 ⇒Oへ ※5 妥当性確認 の場合⇒Nへ	N 発注者による妥当性確認 (①~③にOor×を入力)				O 変動後金額 (税抜き) F×L	P 変動額 (税抜き) 品目毎の ΣO-ΣH	Q 判定 P-E O>0⇒対象 O≤0⇒非対象	R 対象変動額 「Q=対象」 の場合 N
												①発注者による 見積徴収	②近隣工事にお ける材料調達状 況	③特別調査で設 定した単価の場 合、調査期間へ のヒアリング	①~③確認結果				
鋼材						0					0	①V			0				
品目小計						0					0	①V			0				
生コン						0					0	①V			0				
品目小計						0					0	①V			0				
石材						0					0	①V			0				
品目小計						0					0	①V			0				
燃料						0					0	①V			0				
品目小計						0					0	①V			0				
品目ごとの設計額ベースの変動額 合計 (税抜き)						0					0	①V			0				

※1 単価変動の原因が同一のもの、同一品目として取り扱うことを基本とする。  
 ※2 単価変動を除く材料については、受注者の見積額が設計図書の数値に満たない場合は、対象材料としない(マニュアル2-2)。  
 ※3 G及びIは設計ベース単価(税抜き)を入力する。Jは受注者の購入単価(税抜き)を入力する。  
 ※4 行は必要に応じて追加すること。その際、集計が正しくされるか、数式を確認すること。  
 ※5 妥当性の確認が必要な場合、Nの項目①~③をすべて確認(入力)し、妥当性を判断する。

S：設計額ベースのスライド額増減額(税抜き) ΣR-E	0円 (少数以下切捨)
T：変更設計工事価格 D+S	0円 (千円未満切捨)
U：変更設計額 T×110/100	0円
W：変更請負額 C×U	0円 (千円未満切捨)
X：スライド額 W-(D×110/100×C：千円未満切捨)	0円

※Dを算出した変更設計書の直後工事費に0046を設定し、その配下にSを入力し計算